



令和7年10月1日
世田谷区立砧小学校
ことばの教室
校長 神田 光子
Tel 03-3417-4822

今年の夏はとても暑い日が長く続き、秋は来るのだろうかと考えたほどでした。しかし、急に涼しくなり、夕方には鈴虫の声が聞こえ、秋の訪れを感じました。

本校は、10月に運動会、11月に学芸会を行います。砧小学校以外の学校でも2学期に行事を予定している学校が多くあり、「運動会のダンスの練習をしているよ!」「走るのは好きだけど、ドキドキしちゃう。」という声を聞いています。学芸会や学習発表会を心配している声も聞いています。大勢の前で話すこと強い不安を感じているお子さんは多くいます。不安を軽くして前向きに取り組めるようにするために、事前に対応できることがいろいろとあります。行事を通して、お子さんの自信につなげていくために、一人一人に合った方法を話し合っていきたいと思っています。どうぞお気軽にことばの教室へご相談ください。

行事予定



6日(月) 学識経験者による指導・相談(午前の指導はありません)

筑波大学 宮本 昌子 先生

7日(火) 都難言協ブロック研究会(午後の指導はありません)

13日(月) スポーツの日

14日(火) 都難言協専門研究会(午後の指導はありません)

17日(金) 砧小学校運動会前日準備

(午後の指導の有無については担当からお知らせします)

18日(土) 砧小学校運動会

20日(月) 砧小学校運動会振替休業日(指導はありません)

30日(木) 砧小学校就学時健康診断(午後の指導はありません)

3日(月) 文化の日

4日(火) 都難言協江南ブロック研究会(午後の指導はありません)

5日(水) 第2回 吃音グループ学習会

10日(月) 区難言担任連絡会(午前の指導はありません)

24日(月) 勤労感謝の日振替休日

25日(火) 都難言協通級指導学級研究会(午後の指導はありません)

28日(金) 砧小学校学芸会

(指導の有無については担当からお知らせします)

29日(土) 砧小学校学芸会

12月1日(月) 砧小学校学芸会振替休業日(指導はありません)



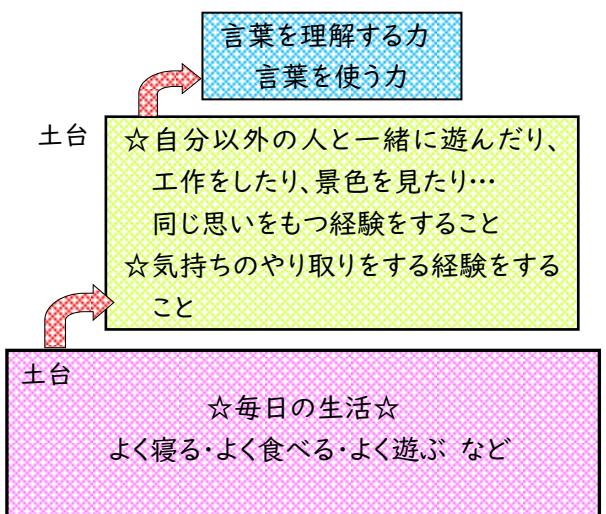
言葉の発達について

言葉にはどのようなはたらきがあるの？

- ① コミュニケーションや記録のはたらき
- ・自分の体験したことや気持ちなどを言葉で表し、自分以外の人に伝えることができる。
 - ・発見したことや調べたことを記録することで後の時代の人や他の国の人とも共有することができる。
- ② ものごとを感じ取ったり、考えたりするときの道具としてのはたらき
- ・ものの名前、その様子や動きを表す言葉を使うことによって、ものごとをはっきり整理することができる。
 - ・ものごとを感じ取ったり、考えたりするときに言葉で表現して自分以外の人に伝えることができる。
- ③ 行動を調整するはたらき
- ・欲しいものがあるときや何か欲しいときに言葉で要求することができる。
 - ・「だめ。」と言われたらがまんしようと思う。
 - ・自分で「最後まで終わらせる。」と言って最後までがんばって取り組む。

言葉の発達に大事なこと

家や学校などで経験したことを周りの人と伝え合う、やり取りを楽しむことで「心・体・言葉」は全体的に発達していきます。



言葉の発達には、言葉の学習ばかりを見るのではなく、支えている下の土台を豊かにしていくことが重要です。土台が大きければ、上に積みあがる力も大きいものが積み上がっていきます。

言葉の理解や使い方がうまくできない

生活の中で経験を重ねるうちに、言葉を覚え、使えるようになっていきます。人はそれぞれ違いはありますが、同じ年齢の人であればある程度、同じ力が身に付いていきます。しかし、年齢に見合った言葉の使い方ができない場合があります。原因や表れ方は人によって様々です。

- 例:
- ・言える言葉の数がなかなか増えない。
 - ・単語を並べて言うだけで、文としてつなぐことができない。
 - ・文法的におかしい話し方をする。
 - ・意味が伝わりにくい話し方をする。
 - ・知っている言葉を使いこなすことが難しい。

子どもが言葉を正しく理解できるように 周りの大人が

具体的にわかりやすく伝えましょう

- ・短い言葉で話しかけましょう
 - ・わかりやすくはっきり伝えましょう
 - ×難しい抽象的な言葉
 - ×遠回しな表現
 - ×省略しても分かるだろう
- 例:「そこ、通るよ。」→「通るからどいてね。」「いすがじやま。」→「いすを片付けてね。」
- ・おだやかにゆっくり話しかけましょう
 - ×早口
 - ×強い口調
 - ・視覚的に確認できるものを使って話しかけましょう
 - 文字でも表す
 - 写真や絵、実物を見せながら話す



短い文で区切って話し、文字（または絵）でも同時に表すと、どの子どもにもわかりやすくなります。



【参考文献】

- ・「発達と障害を考える本8 ふしぎだね！？」
　　言語障害のおともだち」
- 監修:牧野泰美 編:阿部厚仁 ミネルヴァ書房
- ・「0歳~6歳 子どもの社会性の発達と保育の本」
著:湯汲英史 学研